



日本特殊教育学会 第64回大会 自主シンポジウム5-5
「小中学校の多様な子供たちへの支援 外部資源を活用した支援」

話題提供

特別支援教育支援員の配置と研修の課題について

特定非営利活動法人 ぴゅあ・さぽーと

松尾 麻衣



支援員の配置

- 平成19年～全国の小中学校、幼稚園、高等学校に特別支援教育支援員の配置
- NPO法人 ぴゅあ・さぽーとでは、平成20年から品川区、平成26年から港区、令和2年から渋谷区の特別支援教育支援事業を受託し、幼稚園、小中学校に総勢300人ほどの支援員の配置を行っている。

支援員の配置

- 外部資源を活用した支援を進める上で、現在、多くの学校で利用されている「特別支援教育支援員」の力は不可欠で、大切な資源となっている。
- 一方、その力を十分に生かしきれていない学校もある。
- ぴゅあ・さぽーとでは、支援員と学校が協働し、支援員が力を発揮できる配置と研修に取り組んできた。
- 支援員一人ひとりの強みを生かせるよう、これまでの経験や適性を踏まえて、できる限り適した職種への配置を行っている。

支援員の養成①

- 支援員は未経験から始める方も多く、人によってスキルの差が大きい。
20代(教育学部系大学生)～70代
近年、福祉系の職種からの転職、兼務の方、
未経験から始める主婦の方が最も多い。
- 支援員の研修は、基礎的な内容が必要な場合が多く、
専門職向けに作成された既存の教材では対応しにくい。

支援員の養成②

- 当法人では今年度より、短い時間で継続的に研修ができるよう、1本10分程度の支援員向けの研修動画を複数作成し、オンラインで受講してもらっているが、課題もあり、より有効な研修のあり方について検討したい。

支援員の役割

特別支援教育支援員は、小・中学校において校長、教頭、特別支援教育コーディネーター、担任教師と連携の上、次のような役割が想定されます。

- ① 基本的な生活習慣確立のための日常生活上の介助
- ② 発達障害の児童生徒に対する学習
- ③ 学習活動、教室間移動等における介助
- ④ 児童生徒の健康・安全確保関係
- ⑤ 運動会（体育大会）、学習発表会、修学旅行等の学校行事における
- ⑥ 周囲の児童生徒の障害理解促進

『「特別支援教育支援員」を 活用するために』(2007)より

ぴゅあ・さぽーとで大切にしている支援員の役割

- 子どもの気持ちに寄り添うこと
- 子どもの行動の背景を考え、必要な支援を行うこと
- 特別支援教育の仕組みと支援員の役割を理解すること
- 先生方の指示や園・学校の方針に沿って業務を行うこと
- 先生方や他の支援員と連携・協力すること
- 困ったときや迷ったときは、一人で抱え込まず相談すること
- 子どもの安全と個人情報を守ること
- 自分の支援を振り返り、学び続けること

ぴゅあ・さぽーとの研修(年間計画)

- 入職以降継続して **動画研修(2026年4月から実施)**
- 初回勤務 初回勤務同行
- 1学期 同じ職種ごとの支援相談会(対面)
- 夏休み 事例検討、支援員同士の情報共有(対面)
- 2学期 同じ職種ごとの支援相談会(対面)
- 随時 支援相談、巡回訪問相談

※一部の必須研修を除き、いずれの研修も受講を推奨しているが、受講は任意としている。

動画研修の講座内容について

特別支援教育に関する講座

基本講座

勤務する園・学校・学級別講座

障害別講座

中級向け講座

※月に1本程度、新たな研修動画を追加・公開している。

動画研修の講座内容について

特別支援教育に関する講座

- 特別支援教育の基本的理解
- インクルーシブ教育
- 合理的配慮
- 自立活動
- 学校に勤務する様々な支援の職種

動画研修の講座内容について

基本講座

- 支援員の業務
- 支援員の1日の流れ
- 支援員の服装、勤務のマナー
- 先生とのコミュニケーションで大切なこと
- 教室移動の支援
- 校外学習、移動教室の帯同
- トイレ介助
- プール介助
- 休み時間の見守り

動画研修の講座内容について

基本講座

- 記録の書き方
- 子ども同士の理解を育てるための障害の伝え方
- 支援相談
- 個人情報を守り方
- 虐待リスクに気づいたら
- 支援員のメンタルヘルス

動画研修の講座内容について

勤務する園・学校・学級別講座

- 特性に合わせた支援(指示の聞き取り)
- 特性に合わせた支援(こだわり・パニック)
- 特性に合わせた支援(集団行動、コミュニケーション)

動画研修の講座内容について

障害別講座

- 車いす介助の基本
- 視覚障害の子どもの支援で気を付けたいこと
- 補聴器を使用している子どもの支援
- てんかんのある子の対応
- 感覚過敏のある子の対応

動画研修の講座内容について

中級向け講座

- 現場で生きる支援の振り返り

#障害別 #中級講座

特別支援教育に関する講座



自立活動

動画を見る

学校に勤務する様々な支援の職種(品川)

動画を見る

学校に勤務する様々な支援の職種(渋谷)

動画を見る

基本講座



幼稚園



小学校通常学級



小学校特別支援学級(知的)



中学校通常学級



中学校特別支援学級(知的)



障害別



中級講座



作成時に大切にしていること

- ・10分程度の長さ
- ・専門用語を使用しない
- ・丁寧な説明
- ・音声で読み上げ
- ・字幕表示

個人情報を守り方

子どもと学校の信頼を守るために

**この講座では、支援員として守るべき
個人情報保護について学びます**



動画研修受講者アンケートの実施

下記についてアンケートを実施した。

- 画像・資料は見やすかったか
- 音声は聞き取りやすかったか
- 講座の内容、解説はわかりやすかったか
- 講座のレベルは自分に合っていたか
- 講座の長さは適切だったか
- 支援についての新たな気づきや学びがあったか
- 講座で学ぶことで安心して勤務に当たることができたか
- 講座で学んだことを、今後の支援で実践してみたいと思ったか
- 動画研修は(対面研修と比較して)受講しやすかったか
- 今後も動画による研か修を受講したいと思う

動画研修受講者アンケートの結果

支援員A

支援員歴: 1か月

職種: 知的障害特別支援学級の支援員(小学校)

未経験から始めた主婦の方

入職直後から研修動画をよく視聴していて、勉強熱心。

感想: 特に不安な内容は繰り返し確認したいと思う。

字幕があるので、音声を聞けない公共の場所でも視聴できる。

動画研修受講者アンケートの結果

支援員B

支援員歴:6か月

職種:知的障害特別支援学級の支援員(小学校)

教員経験者(元養護教諭)

感想:具体的な支援例が大変参考になった。

動画研修受講者アンケートの結果

支援員C

支援員歴:7年

職種:知的障害特別支援学級の支援員(小学校)

勤務歴が長いが、特定の児童の支援に困っていて動画の視聴に熱心
感想:

講義内容は理解していても実際の支援は難しいことも多い。

動画研修受講者アンケートの結果

支援員D

支援員歴:7年

職種:通常学級の支援員(中学生)

学校の信頼も厚く、スキルの高い支援員。

感想:何度も確認できるのがよいと思った。

自分で確認できるように、受講済み講座がわかるように表示されたらいいと思う。

動画研修受講アンケートの結果(まとめ)

- 研修動画は、資料や内容の分かりやすさ、視聴のしやすさについて高い評価を得た。支援に必要な基礎知識を提供し、新たな気づきや学びを促す手段として有効であるとの意見が多かった。
- 一方で、知識として理解することと、実際の支援場面で安心して対応できることには差がみられた。
- 動画一覧の分かりにくさや、AI音声の聞き取りにくさなど、視聴環境に関する改善点も挙げられた。

動画研修の効果

- 初めての勤務に対する不安が軽減され、安心して勤務を始められるようになったことで、早期退職者の減少につながった。
- 勤務や支援における禁止事項を明確に伝えることで、不適切な対応の予防と苦情の減少につながった。
- 継続的に研修動画を配信することで、支援員には自身の知識や理解を常に更新していく必要があるというメッセージを伝えることができた。

今後の研修・支援体制の改善について

- 支援員が実際に困る場面を取り上げ、具体的な対応方法を学べる動画を作成する。

これまで：子どもの行動の背景から支援の方法を説明(専門職向けの内容だったのではないか)

今後：子どもの行動、状況を具体的に挙げて、その対応を具体的に説明

今後の研修・支援体制の改善について

- 動画リンクの一覧化、受講履歴の確認、案内の方法など、受講管理の仕組みを改善し、支援員が視聴しやすい環境を整える。
- 動画研修に加え、事例検討、支援相談会、巡回訪問を組み合わせ、実践力と勤務上の安心感を高める。